



2020年6月2日

各 位

会 社 名 アイサンテクノロジー株式会社
代表者名 代表取締役社長 加藤 淳
(JASDAQ コード番号 4667)
問合せ先 取締役経営管理本部長 曾我 泰典
(Tel 052-950-7500)

**特許第 6700405 号「走行軌道生成装置、走行軌道生成方法、
走行軌道生成プログラム、及び、記録媒体」共同特許取得のお知らせ**

アイサンテクノロジー株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：加藤 淳）は、株式会社トヨタマップマスター（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：山田 博之）、及び、株式会社三英技研（本社：広島県広島市、代表取締役社長：山本 真）と共に、令和 2 年 5 月 7 日 走行軌道生成装置、走行軌道生成方法、走行軌道生成プログラム、及び、記録媒体（特許第 6700405 号）の特許を取得したことをお知らせします。

以上

特許第 6700405 号「走行軌道生成装置、走行軌道生成方法、走行軌道生成プログラム、及び、記録媒体」共同特許取得のお知らせ

アイサンテクノロジー株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：加藤 淳）は、株式会社トヨタマップマスター（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：山田 博之）、及び、株式会社三英技研（本社：広島県広島市、代表取締役社長：山本 真）と共に、令和 2 年 5 月 7 日 走行軌道生成装置、走行軌道生成方法、走行軌道生成プログラム、及び、記録媒体（特許第 6700405 号）の特許を取得したことをお知らせします。

【本発明について】

例えば、高速道路や国道等のように、車線で区切られた複数の走行レーンが並行して存在している場合に、同じ道路上のカーブであっても内側と外側とでは曲率は大きく異なります。周辺道路環境によって実際に走行する軌道はレーン単位で異なることが多いのが実情です。

運転支援や自動運転支援においては、現在位置情報と目的位置情報とに基づいて、走行ルートを算出する技術を一般的に用いますが、快適性や安全性を考慮すると、このような複数の走行レーンが存在している場合に、走行レーン毎に異なる走行軌道を生成することが有効となります。

本発明では、上述のような課題を解決するために、走行レーン毎に最適な走行軌道を生成することができる走行軌道生成装置、走行軌道生成方法、走行軌道生成プログラム、及び、記録媒体を提供することを目的とする発明をいたしました。これにより、運転支援や自動運転支援において、乗員の快適性をより向上させることや、自動運転システムへの最適な走行経路の提供が可能になります。

【会社概要】

アイサンテクノロジー株式会社

本社所在地：愛知県名古屋市中区錦三丁目 7 番 14 号 AT ビル

ホームページ：<https://www.aisantec.co.jp/>

【事業内容】

1. 公共測量・登記測量・土木建設業向け CAD システムの設計・開発・販売及び保守業務
2. 世界座標化への解析ソフト・変換モジュールの受託開発業務
3. 三次元地図整備のためのソフトウェア研究開発業務
4. 三次元地図計測業務
5. モービルマッピングシステム販売事業

【本件に関するお問い合わせ先】

〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目 7 番 14 号 AT ビル

アイサンテクノロジー株式会社 MMS 事業本部

TEL：052-950-7500